

# 1 連続の式

連続の式は質量の保存則から導かれるものである。非圧縮性流体の密度は変化しないので、質量の保存則と体積流量の保存則とは同じ意味になる。したがって、この二つをいずれも連続の式という場合が多い。

まず二次元の流れ場について説明する。図5に破線で示すような流線をもつ流れ場に、座標軸  $x$  と  $y$  に平行に、辺の長さがそれぞれ  $\Delta x$  と  $\Delta y$  である直方体の微小検査体積 PQRS をとる (紙面奥行方向に単位長さ 1, 流体の密度を  $\rho$  とすると、この検査体積内に含まれる質量は  $\rho\Delta x\Delta y$  である。

一方、検査体積に流入する質量には、面 SP から流入するものを例にとれば、速度  $V$  のうち  $x$  方向成分  $u$  が関係し、 $y$  方向成分  $v$  は関係しない。他の面についても同様に考えれば、 $\Delta t$  時間に流入する質量は、図5の場合面 PQ と面 SP からであり、それぞれ次のようになる。

$$\text{面 PQ から : } (\rho v) \Delta t \Delta x \quad (1)$$

$$\text{面 SP から : } (\rho u) \Delta t \Delta y \quad (2)$$

ここで  $v$  は面 PQ 上で必ずしも一定ではないが、 $\Delta x$  が小さいので PQ 上の  $y$  方向速度は近似的に  $v$  で表すことができる。他の面も同様である。一方、 $\Delta t$  時間に流出する質量は、面 RS と面 QR からであり、次のように表される。

$$\text{面 RS から : } \left[ \rho v + \frac{\partial(\rho v)}{\partial y} \Delta y \right] \Delta t \Delta x \quad (3)$$

$$\text{面 QR から : } \left[ \rho u + \frac{\partial(\rho u)}{\partial x} \Delta x \right] \Delta t \Delta y \quad (4)$$

ここでかっこの中の第2項はそれぞれ  $\rho v$  と  $\rho u$  の変化分である。この場合、RS 上の  $y$  方向速度の  $x$  方向変化  $\partial v/\partial x$  は微小として、 $v$  の  $y$  方向変化  $\partial v/\partial y$  のみを考慮している。したがって  $\Delta t$  時間に流入する質量と流出する質量の差は、流入 (+ の符号を付ける) と流出 (- の符号を付ける) に注意すると次式のように表される。

$$\begin{aligned} & \rho v \Delta t \Delta x + \rho u \Delta t \Delta y - \left[ \left( \rho v + \frac{\partial(\rho v)}{\partial y} \Delta y \right) \Delta t \Delta x + \left( \rho u + \frac{\partial(\rho u)}{\partial x} \Delta x \right) \Delta t \Delta y \right] \\ & = -\frac{\partial(\rho u)}{\partial x} \Delta t \Delta x \Delta y - \frac{\partial(\rho v)}{\partial y} \Delta t \Delta x \Delta y \end{aligned} \quad (5)$$

この差は  $\Delta t$  時間内に検査体積に貯えられる質量  $\Delta(\rho\Delta x\Delta y)$  に等しいから、次の関係が成り立つ。

$$\Delta(\rho\Delta x\Delta y) = -\frac{\partial(\rho u)}{\partial x} \Delta t \Delta x \Delta y - \frac{\partial(\rho v)}{\partial y} \Delta t \Delta x \Delta y \quad (6)$$

両辺を  $\Delta t \Delta x \Delta y$  で除し、 $\Delta t$  を 0 に近づけると、次の連続の式を得る。

$$\frac{\partial \rho}{\partial t} + \frac{\partial(\rho u)}{\partial x} + \frac{\partial(\rho v)}{\partial y} = 0 \quad (7)$$

密度  $\rho$  が一定 (非圧縮性流体) の場合は、流れが定常か非定常かにかかわらず、次式が成り立つ。

$$\frac{\partial u}{\partial x} + \frac{\partial v}{\partial y} = 0 \quad (8)$$

3次元では  $z$  方向速度成分を  $w$  とすると、式 (7), (8) に対応する式として次式を得る。

$$\left\{ \begin{array}{l} \frac{\partial \rho}{\partial t} + \frac{\partial(\rho u)}{\partial x} + \frac{\partial(\rho v)}{\partial y} + \frac{\partial(\rho w)}{\partial z} = 0 \end{array} \right. \quad (9)$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \frac{\partial u}{\partial x} + \frac{\partial v}{\partial y} + \frac{\partial w}{\partial z} = 0 \end{array} \right. \quad (10)$$

ベクトル形式では、

$$\left\{ \begin{array}{l} \frac{\partial \rho}{\partial t} + \nabla \cdot (\rho \mathbf{V}) = 0 \end{array} \right. \quad (11)$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \nabla \cdot \mathbf{V} = 0 \end{array} \right. \quad (12)$$

となる。